

## ふりかえりプリント 9月第4週②

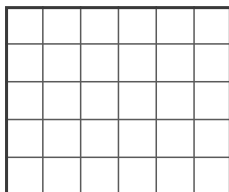
答えのらんをうしろからおってから始め、おわったら自分で丸をつけましょう。

名前

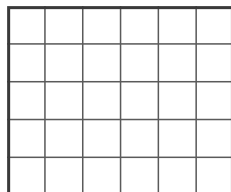
### A 数と計算

① 筆算でしましょう。

$$213 \times 3$$



$$124 \times 4$$



② 3826を四捨五入して、百の位までのがい数にしましょう。

答え

③ 1mの重さが1.4kgのぼうがあります。このぼう3.5mの重さは何kgですか。

答え

④ 18の約数をすべて書きましょう。

答え

### B 図形・量と測定

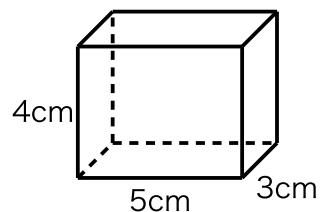
① 直径が18cmの円の半径は何cmですか。

答え

② 1m<sup>2</sup>は何cm<sup>2</sup>ですか。

答え

③ この直方体の体積は何cm<sup>3</sup>ですか。



答え

④ 四角形の4つの角の大きさの和は何度ですか。

答え

### C 変わり方と割合

① 35は5の何倍ですか。

答え

② 1辺が1cmの正方形を、横に1れつにならべていきます。正方形の数が6このとき、まわりの長さは何cmですか。

| 正方形の数(こ)   | 1 | 2 | 3 | 4  |
|------------|---|---|---|----|
| まわりの長さ(cm) | 4 | 6 | 8 | 10 |

答え

③ 1分間に3Lずつ水を入れます。7分間では何L入りますか。

答え

④ 8mは5mの何倍ですか。

答え

⑤ テープを1.5倍にのばしたら9mになりました。もとの長さは何mですか。

答え

こたえ (おもて)

A

①  $213 \times 3 = 639$

$124 \times 4 = 496$

② 3800

③ 4.9kg

④ 1、2、3、6、9、18

B

① 9cm

② 10000cm<sup>2</sup>

③ 60cm<sup>3</sup>

④ 360度

C

① 7倍

② 14cm

③ 21L

④ 1.6倍

⑤ 6m

まちがえた問題は消さずに、赤で書きなおしましょう。

5年 9月4週 (2) |  
①=3年 ②=4年 ③  
から=5年  
(Cは⑤まで)

5-09-4-2 v6



まちがいを見つけたら  
教えてください

# 十秒の水やり

じゅうびょう

みず

名前

音読サイン

夏休み<sup>なつやす</sup>の当番<sup>とうばん</sup>で、学級園<sup>がくきゅうえん</sup>のヘチマに水<sup>みず</sup>をやることになった。朝<sup>あさ</sup>の八時<sup>はちじ</sup>、じょうろ二<sup>に</sup>はい。それが先生<sup>せんせい</sup>から言<sup>い</sup>われたことだった。

三日目<sup>みっかめ</sup>、わたしは早く<sup>はや</sup>帰<sup>かえ</sup>りたくて、水<sup>みず</sup>を根<sup>ね</sup>もとにぎっとかけた。土<sup>つち</sup>の表面<sup>ひょうめん</sup>が黒<sup>くろ</sup>くなり、いかにもたっぷりやったように見<sup>み</sup>えた。時間<sup>じかん</sup>にして十秒<sup>じゅうびょう</sup>ほどだった。

四日目<sup>よっかめ</sup>も五日目<sup>いつかめ</sup>も、わたしは同じ<sup>おな</sup>ようにした。土<sup>つち</sup>の表面<sup>ひょうめん</sup>はいつも黒<sup>くろ</sup>くなり、わたしは当番をやっているつもりでいた。一週間<sup>いっしゅうかん</sup>後<sup>ご</sup>、ヘチマの葉<sup>は</sup>が、下<sup>した</sup>のほうから黄色<sup>きいろ</sup>くなっていた。先生<sup>せんせい</sup>に話<sup>はな</sup>すと、「土<sup>つち</sup>を掘<sup>ほ</sup>ってみようか。」と言<sup>い</sup>われた。指<sup>ゆび</sup>を入れると、表面<sup>ひょうめん</sup>の下<sup>した</sup>は、からからに乾<sup>かわ</sup>いていた。

「かけた水<sup>みず</sup>は、上<sup>うえ</sup>を流<sup>なが</sup>れただけやったんやね。」先生<sup>せんせい</sup>は静<sup>しず</sup>かに言<sup>い</sup>った。「根<sup>ね</sup>は、下<sup>した</sup>におりていくもんを追<sup>お</sup>いかける。上<sup>うえ</sup>だけぬれとったら、根<sup>ね</sup>は上<sup>うえ</sup>へ来<sup>く</sup>る。上<sup>うえ</sup>の土<sup>つち</sup>は、いちばん先<sup>さき</sup>に乾<sup>かわ</sup>くんだよ。」

その日<sup>ひ</sup>から、わたしはじょうろを三回<sup>さんかい</sup>に分<sup>わ</sup>けてかけるようにした。一回<sup>いっかい</sup>目がしみこむのを待<sup>ま</sup>って、二回目<sup>にかいめ</sup>。時間<sup>じかん</sup>は前<sup>まえ</sup>より長<sup>なが</sup>くかった。八月<sup>はちがつ</sup>の終<sup>お</sup>わり、ヘチマの蔓<sup>つる</sup>は、支柱<sup>しちゅう</sup>の上<sup>うえ</sup>まで届<sup>とど</sup>いていた。

(1) 「たっぷり」の意味に合うものを一つ選び、記号に○をつけましょう。

- ア ほんの少し
- イ じゅうぶんに多く
- ウ いそいで
- エ しずかに

(2) ヘチマの葉が黄色くなったのは、なぜですか。一つ選び、記号に○をつけましょう。

- ア 日が当たりすぎたから
- イ 虫がついたから
- ウ 肥料が多すぎたから
- エ 水が土の中までしみこんでいなかったから

(3) 「わたし」がその日から変えたことは、じょうろを何回に分けることですか。文章から二字で書きぬきましょう。

(4) 先生の言葉から、「わたし」は何を学びましたか。文章の言葉を使って書きましょう。

## 書くときのポイント

- 「こと。」でおわらせる。
- 「しみこむ」という言葉<sup>ことば</sup>を使う。

## こたえ (うら)

- 問1 イ
- 問2 エ
- 問3 三回
- 問4 (例) 表面をぬらすだけでは水は上を流れるだけで、しみこむのを待って何回かに分けてやらなければ根まで届かないということ。

〈○のつけ方〉  
問1～問3は、答えとびったり同じなら○。  
問4は〈しみこむのを待つ〉ことが書けていれば○。

5-09-4-2 v6  
5年 物語文